

日本文学誌要 50巻 : 目次

雑誌名	日本文学誌要
巻	50
発行年	1994-07-09
URL	http://hdl.handle.net/10114/00019752

〔巻頭論文〕

文芸批評家としての北村透谷

——その登場から斉藤緑雨論まで——

小田切秀雄……（一）

〔特集・随想〕

「国文学誌要」の時代……

永積 安明……（七）

交友三十余年……

久保田正文……（八）

法政大学と故西尾実先生の思い出……

水野弥穂子……（一〇）

林達夫先生のこと……

阪下 圭八……（一二）

魚がやっと得た水……

田中 優子……（一六）

往時を回想しながら現今に及ぶ……

島本 昌一……（一七）

「あの頃」のこと……

近藤 健……（一九）

〔論文〕

万葉のみやびと「いちはやきみやび」——その連続性と不連続性——

滝瀬 爵克……（二六）

ハチVとハタマVのヘモノV語り——火遠理命神話の口誦性——

坂本 勝……（三八）

「祇園精舎」の展開……

正木 信一……（四七）

鷗外、内面の転回——『灰燼』をめぐる——

伊藤 敬一……（五六）

敗戦直前の文学者——尾崎士郎・火野葦平・中村武羅夫——

高崎 隆治……（六七）

コントと悪意の文学——石川淳論序説——

吉田恵美子……（七五）

もうひとつの季節と城——中蘭英助『北京飯店旧館にて』論——

立石 伯……（八五）

「捨子物語り」の世界——高橋和巳の抒情性——

藤村 耕治……（九三）

愛と瞋の詩——「転位のための十篇」論——

川鍋 義一……（一〇三）

日本文學誌要

〔隨想〕

異文化との出会い……………	鈴木 敬司……………(一一三)
安積開拓と天皇の肖像……………	塩谷 郁夫……………(一一五)
日文科のAさんへ……………	池田 雄一……………(一一八)

〔卒論〕

琉歌にみる「しほらしや」の美意識……………	柴田 和恵……………(一二〇)
生成変形文法におけるX理論についての一考察……………	西沢 道代……………(一二八)
絵本論——桃太郎を中心に昔話絵本を考える——……………	坂野 陽子……………(一四二)
「我が心は石にあらず」論……………	西原美千代……………(一五二)
野上彌生子「真知子」論……………	和田美由規……………(一六一)
「こころ」と「私の個人主義」……………	井上 英治……………(一七一)
△空閑少佐Vの葉隠美学——真山青果論……………	山田 雅子……………(一八一)

〔書評〕

勝又浩著「都市の常民たち」……………	曾村 充利……………(一九一)
萩原一雄「村長通信」……………	岸本 一行……………(一九二)
溝口章詩集「公孫樹の下で」……………	米山 賢司……………(一九三)
北原文雄創作集「田植え舞」……………	南雲 道雄……………(一九四)
谷口潮著「みかえり阿弥陀」……………	梅澤亜由美……………(一九五)
大和田茂他著「自由人の軌跡」……………	早川 雅之……………(一九六)
大滝十二郎著「あげるアテもないのに」……………	下沢 勝井……………(一九七)